

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果と学位論文等審査基準の対応マップ

		卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果		
		1	2	3
学位論文審査基準	1	◎		◎
	2	○	◎	
	3	○	◎	
	4		◎	
	5	○		◎
	6			

経済学研究科博士前期課程の特定課題研究を評価するためのルーブリック

	模範的	優秀	合格圏	学習過程
研究課題の明確性	研究課題が非常に明確に示されている。	研究課題が明確に示されている。	研究課題に不明瞭な部分があるが、基本的には明確に示されている。	研究課題が明確に示されていない。
課題を追求する上で の方法論の適切性	研究課題を追求する上で採用された方法論の適切性が非常に高い。	研究課題を追求する上で採用された方法論が適切である。	研究課題を追求する上で採用された方法論の一部に課題があるが、基本的には適切である。	研究課題を追求する上で採用された方法論が適切ではない。
研究方法及び調査方法の妥当性	研究課題を追求する上での研究方法及び調査方法の妥当性が非常に高い。	研究課題を追求する上での研究方法及び調査方法が妥当である。	研究課題を追求する上での研究方法及び調査方法の一部に課題があるが、基本的には妥当である。	研究課題を追求する上での研究方法及び調査方法が妥当ではない。
研究の成果の妥当性	導き出された研究の成果の妥当性が非常に高い。	導き出された研究の成果が妥当である。	導き出された研究の成果の一部に課題があるが、基本的には妥当である。	導き出された研究の成果が妥当ではない。
研究の新規性	研究の顕著な新規性が確保されている。	研究の新規性が確保されている。	研究の一部に新規性が認められる。	研究の新規性が確保されていない。
その他				